

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	
園名	東京都北区立滝野川保育園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

「色」

<テーマの設定理由>

園庭に大きな固定遊具が設定されてない中、園庭の遊びの中心は日頃から草花を使い自由な発想で遊んでいる姿が多く見られる。その中で草花での色水作りを楽しみ、自然の物から色を作り出すために工夫する姿が各学年ごとにある。「色」をテーマとし、自然物だけでなく、素材からも子どもが自ら色を作り出すことや、色の不思議さに興味関心をもち探求心を深めるためにこのテーマとした。

### 2. 活動スケジュール 3. 探究活動の実践

昨年、草花を使って色水を作る遊びを楽しんでいた姿より

4月～園庭遊びや散歩先で草花を集め遊んでいく。また、色々な色水の入ったペットボトルを使って遊ぶ姿中で、様々な色に興味関心を持つ。

6月～素材を使っての色水作りを経験し、色の不思議さに興味や関心を持つ。

9月～素材や絵の具を使っての、色水遊びをする。

10月～育ってきた草花を使って、色々な色が出ることを試して楽しむ。

11月～年長児が花壇の草花を摘み、伝統的な技法を使って色の出し方を経験する。  
又、その技法を使って作品を作る。

12月～年長児の活動状況や出来上がった作品を見て、3・4歳児もたたき染めを楽しむ。

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

【自然】

- ◎道具…バケツ、バケツにのせる網、すりこぎ棒、カップ等の容器、
- ◎環境の設定…保育の中で虫探しができるよう草花を植える。花壇を整備し、数種類の花に触れられるようにする。
- ◎子どもの声…「このお花は赤だね」「黄色や青もあるよ」「これを混ぜたらこんな色になったよ！きれいだね」など、色への気づきが聞かれる。  
「先生、かざって」「どう飾りたいの？」「先生、どうしたらもっと黄色になるの？」

【素材】

- ◎道具…花紙、ペットボトル容器(1/3 カットサイズ)、クリアカップ、ビニール袋、じょうご、ザル、手つきザル、茶こし、泡だて器、菜箸、パッチンお風呂ネット、計量カップ、製氷皿
- ◎環境の設定…発達や興味にあった道具を豊富に用意する。園庭では興味の持った児が自由にじっくりと遊べるコーナーを一角に設定する。
- ◎子どもの声…「色出てきた」「見て、固まったよ」「また同じ色ができた」「味(色)が濃すぎたから黄色を入れてみよう」「少しずつ色をかえたいんだ。だから、水の量をかんがえてるんだ。」

【たたき染め】

- ◎道具…布、ミニすりこぎ棒、花摘み用入れ物、ミニクリアファイル
- ◎環境の設定…ホールにてテーブルを3台用意し、2グループに分かれて行う。花を2枚、葉を2枚園庭花壇より選ぶ。
- ◎子どもの声…「叩いたら色が変わったよ！ふしぎ！」  
「小さいお花なのに叩いたら大きな木に見えるね」  
「叩いたら、色が移るのふしぎだね」  
「この花とこの花、色あうかな？」「こっちがいいんじゃない？」と子ども同士で相談している。



#### 4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・園庭で活動したことで楽しそうに遊んでいる大きい子どもたちの姿や、園庭に飾ってある作品をみて、小さいクラスの子も達の色遊びへの興味関心が広がっていった。各学年がそれぞれの発達に合わせて遊びを提供したことで、探求心が園全体に自然に広がっていき、楽しく同じテーマで取り組めた。
- ・今回、子ども達の興味に合わせて花壇の中に入り、じっくりと遊べる花壇の環境が整ったことで、子ども達のわくわくする気持ちが増していった。
- ・子ども達の声を聴き、次にどのような計画を立てていこうか職員同士もわくわくしながら活動に取り組めた。思いの共有ができたことで、子どもへの理解が深まり、クラス担任だけでなく、どの子どもに対しても、興味関心に合わせた援助をすることができた。
- ・色を作り出すなかで、「どうしたらできるか?」「なんでできないのか?」自然に色が変わっていくことに気がつき「なんで?」「どうして?」と毎日継続して見ている姿から、継続して取り組める、継続して見ていけるような環境作りが今後の課題と気が付いた。